

# 第8回人間科学研究フォーラム

## 概要

人間科学部では、「人間」にかかわる研究を進める他学部、センター等の教員及び地域の自治体・企業・施設等と連携した研究体制を構築することにより、地域で生活する人々がかかえる様々な問題の解決に向けて研究活動の活性化を推進するため、「人間科学研究フォーラム」を開催することとしています。前回から引き続き、第8回目もオンライン開催となりました。これまでは本学部のみで教員のみで話題提供をしていましたが、2021年度から新研究科人間社会科学研究科が開設しており、今回は法文学部のご協力をいただいていた開催となりました。

はじめに、愛媛県公益財団法人正光会 御荘診療所の長野敏宏所長から、「地域の精神科医療を変える取り組み—地域移行を“本気で”考える—」と題して基調講演があり、愛媛県愛南町での実践例を基に、精神科病床を廃止し、地域の中に活躍できる場を創造することで、全ての人が誇りを失わず、生涯を全うできる社会の実現に向けた様々な取り組みを紹介していただきました。

次に、人間科学部及び法文学部の教員により、これまで行ってきた研究に関する発表が行われました。人間科学部福祉社会コースの足立孝子助教からは、「「疾患」と「病(やまい)」のちがいに着目したソーシャルワーク」と題し、カンボジアでの医療についての紹介に続き、自身の経験や具体的事例を交え、ソーシャルワーカーとして大切なことについて発表していただきました。法文学部法経学科経済分野の宮本恭子教授からは、「地域課題と子ども・若者のウェルビーイング」と題し、鳥根県が実施した子どもの生活実態調査のデータの分析に基づき、強化すべき施策を検討する際に重要な考え方について発表していただきました。

## 記

日 時：令和4年9月16日(金) 14:00～17:00

会 場：Zoomによるオンライン開催

テーマ：人と地域をつなぐ事例研究と実践活動の取り組み

### 【講演会】

#### 基調講演

「地域の精神科医療を変える取り組み—地域移行を“本気で”考える—」

愛媛県公益財団法人正光会御荘診療所所長 長野 敏宏 先生

#### 話題の提供

1. 「「疾患」と「病(やまい)」のちがいに着目したソーシャルワーク」

鳥根大学人間科学部心理学コース 足立 孝子 助教

2. 「地域課題と子ども・若者のウェルビーイング」

法文学部法経学科経済学分野 宮本 恭子 教授